

## 1 地域資源データベースシステムの登録状況及び今後の活用方法について

本市では、団塊の世代が75歳以上となる令和7年（2025年）を見据えて、地域包括ケアシステムの構築を進め、高齢者一人ひとりが、住み慣れた地域で、医療、介護、予防、住まい、生活支援などのサービスを切れ目なく利用することができる仕組みづくりに取り組んでいる。

生活支援体制整備事業において、令和2年7月より、地域資源データベースシステムを導入し、地域資源情報のデータベース化を行うとともに、同年9月より、公開可能な情報をインターネットで一般公開し、地域資源情報を簡単に検索できるようにすることで、高齢者がサービスを活用しやすい地域づくりを進めている。当該システムの概要、登録状況及び今後の活用方法については以下のとおりである。

※地域資源：地域で活動するサロンや体操教室などの集いの場、家事支援などの生活支援サービス等

### （1）地域資源データベースシステムの概要について（資料1）

#### ア 検索機能

介護保険サービス、地域で行われているサロンや運動・体操教室などの集いの場、生活支援サービス等の情報を、目的に応じて住所やカテゴリー、条件などから簡単に検索でき、必要な情報を分かりやすく探すことができる。

#### イ 地域資源のマップ化

情報を自動的にマップ化し、検索した集いの場や生活支援サービスなどの地図や一覧を参照・印刷することができる。

#### ウ データの抽出・出力

分析したい項目に合わせてデータを抽出し、出力できる。また、出力されたデータを加工し、表やグラフなどの資料を作成することができる。

### （2）登録状況等について（令和3年3月末現在）

#### ア 登録・公開件数

（単位：件）

カテゴリー	登録件数	公開件数
高齢者の相談窓口（地域包括支援センターなど）	23	23
もの忘れ相談医（病院、クリニックなど）	133	133
集いの場（サロン、体操教室など）	441	292
生活支援サービス（買い物、家事、外出支援など）	260	32
介護サービス（ヘルパー、デイサービスなど）	1,195	1,195
合 計	2,052	1,675

イ 一般公開用ページ閲覧数（令和2年9月1日から令和3年3月31日まで）  
累計 45,068 回（1日約 212 回）

（3）令和3年度の取り組みについて

ア 基本チェックリストによる検索機能の導入（資料2）

令和3年4月から、地域資源データベースシステムで日常生活に関する質問に答えることにより、心身の状態を診断し、生活機能が低下している恐れのある項目を表示するとともに、それぞれの項目ごとに、検索者に合った地域のおすすめのサービスを案内する検索機能を導入することで、高齢者のニーズと地域資源のマッチング機能の向上を図るもの。

イ 介護予防ギフトボックス事業の利用促進

介護予防ギフトボックス事業専用のカテゴリを作成し、同事業の登録教室を簡単に検索できるようにすることにより、高齢者が、通常よりも安い体験価格で参加できる地域のサロンや介護予防教室を知ることができ、利用促進につながることで、地域活動や集いの場等へつなげる取り組みを推進するもの。

（4）今後の活用方法について

ア 生活支援サービス情報の拡充

今後、買い物や外出支援、配食サービスなどの民間企業による生活支援サービスについても一般公開することで、より多様なサービスの中から、高齢者やその家族が希望するサービスを選択できるよう取り組むもの。

イ ボランティア情報の発信

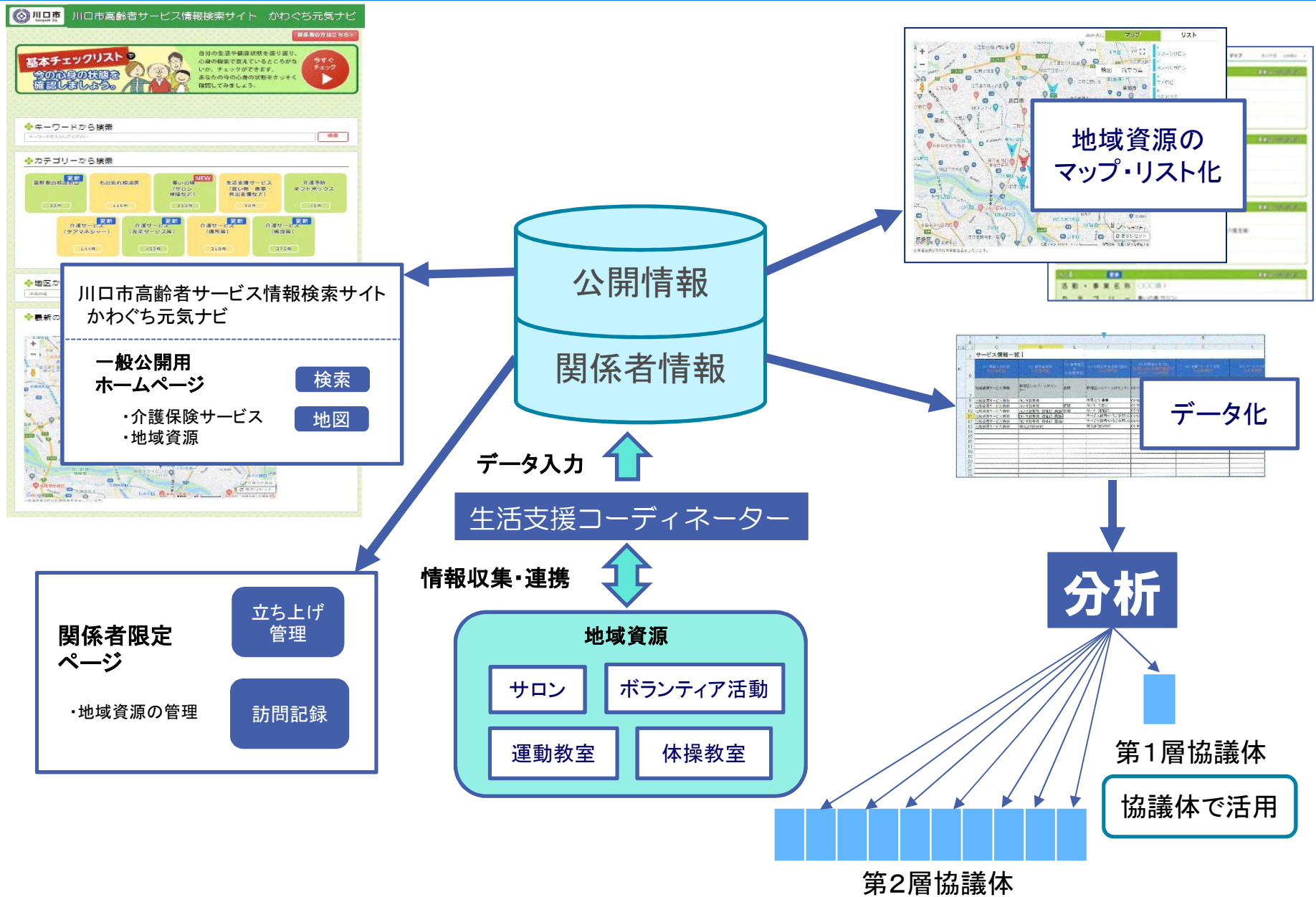
ボランティア活動などの情報を発信することで、元気な高齢者の地域活動への参加や、他の高齢者の生活支援の担い手として社会参加の促進を図るもの。

ウ 地域活動につなげる取り組み（資料3）

グループ連絡機能を活用し、認知症サポーター養成講座やステップアップ講座の修了者等に対し、定期的に地域活動の情報提供等を行うことで、認知症サポーターをより実際の地域活動につなげる取り組みを推進するもの。

※認知症サポーター養成数（令和3年3月末現在）：23,197人（延べ人数）

# 地域資源データベースシステムの概要



# 地域資源データベースシステム 基本チェックリスト

川口市 川口市高齢者サービス情報検索サイト かわぐち元気ナビ

**基本チェックリスト**  
自分の生活や健康状態を振り返り、心身の健康で取れているところがないか、チェックができます。あなたの今の心身の健康状態を詳しく確認してみましょう。

キーワードから検索

カテゴリから検索

地区から検索

最新

**かわぐち元気ナビの上部をクリックすると基本チェックリストが実施できます。**

「基本チェックリスト」で今の心身の状態を確認しましょう。

自分の生活や振り返りながら日常生活に関する質問に答えることで、自分では気づかない心身の弱さを把握できます。あなたの今の心身の状態を確認し、弱れているところがあれば生活改善や健康の回復に努めましょう。

① 運動の習慣

② 栄養状態

③ 口腔の機能

④ 認知

基本チェックリストの結果によって、おススメの教室をご案内します。



××丁目  
運動教室



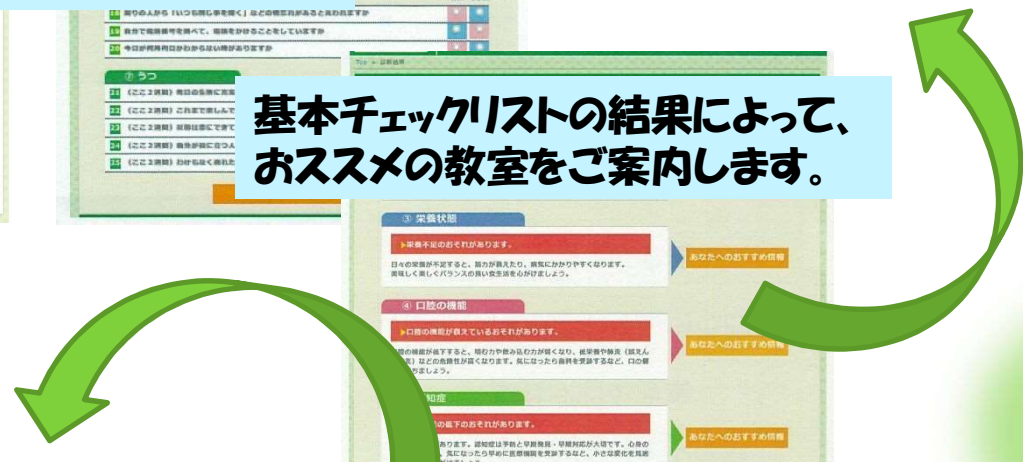
△△認知症カフェ



〇〇公園  
ウォーキング教室



□□公民館  
サロン



# 地域資源データベースシステム グループツール

## グループツール

限定されたメンバーで連絡網をつくることのできるサービス

